

【第 14 回 佐賀県豚熱対策本部会議】 9 月 5 日 10 : 00

農林水産部長／2 例目の防疫措置は、7,649 頭の殺処分が終了。本日 8 時 40 分、自衛隊作業範囲分の 4,519 頭が完了した。残り約 2,600 頭は、県、佐賀市、他県獣医師で殺処分を進める。

埋却溝の掘削は、4 本目 242m を完了。フレコンバッグ 1,278 袋を投入済み。道が狭くフレコンバッグが滞留していた問題は、キャリア車を増強し対処した。

現在、県と唐津市混成チーム 3 班が作業中。延べ人数は 5,000 名を超えた。

建設業協会の皆様には、キャリアのオペレーター、機材のご支援に感謝する。

唐津市からは、本日 8 時から殺処分に動員を出してもらった。

昨日 22 時から、新たに佐賀県森林組合連合会、各地域の森林組合からキャリアのオペレーター 2 名にご協力をいただいている。

他県からの獣医師は、31 都道府県から 52 名、国の関係機関 7 名、計 59 名。

自衛隊の皆様方のご支援にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

落合副知事／自衛隊の皆様には、母豚、種豚といった大きな豚を担当していただいた。ご協力に心から感謝申し上げます。残り約 2,600 頭は、県職員 3 班、唐津市職員 1 班の 4 班体制で進める。

豚舎から埋却処分地までの運搬は、キャリアを 6 台に増やし、オペレーターも確保したため、滞留が解消した。建設業協会、森林組合のご協力に感謝する。

鎮西体育館は、空調がなく暑いため、スポットクーラーを導入していたが、電源容量が足りずブレーカーが落ちることがあった。発電機を投入し、常時使えるようになった。サポートセンターの物品調達、配付はうまく回っている。明日からの雨に備え、タオルの追加調達を指示した。

自衛隊／陸上自衛隊西部方面混成団は、8 時 40 分に作業を終了し、現在、撤収中。作業に当たり、必要な資材、生活環境等への県のサポートに感謝する。

健康福祉部長／昨日の体調不良者は、日中の作業中に 4 名、昨夜から今朝にかけて 3 名。いずれも熱中症の疑いで、息苦しさやしびれ、頭痛の症状。保健師が、体を冷やす処置、経口補水液を飲ませる等の処置で、皆さん回復して帰宅した。

県土整備部長／消毒作業は、4 日 0 時～24 時で合計 112 台。今日は、9 時まで 36 台。建設業協会の方々には、消毒ポイントにも多くの人を出してもらっている。7 月の災害

現場の道路工事や河川工事への影響を懸念する声があり、工事期間の延長など柔軟に対応するよう工事の発注機関に要請している。

防災監／現地の皆さん、ありがとうございます。9時現在、約75%の作業が済み、残り約2,600頭となった。

自衛隊の皆さんには、県では対応が難しい大型の豚の殺処分を担っていただいた。大幅に作業が進み、殺処分のめどが立った。過酷な環境の下、困難な作業を遂行していただき、ありがとうございました。

また、建設業協会の皆様をはじめ、多くの方々にご協力いただき感謝申し上げます。

養豚農家の皆様は、消毒の徹底と異常があったときは速やかにご報告をお願いします。

本日も暑くなる予報です。また、雨も降るとのこと、安全第一をお願いします。